

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	025-269-3154
------	--------------

年度	令和5年度		
施設名	新潟市立坂井輪児童館	所管部・課	西区健康福祉課
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、及びその情操をゆたかにすることを目的として設置する。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	2023. 7. 26
歳入	2,007	正職員	1	修正日	
歳出	2,870	会計年度任用職員	4	評価日	2024. 7. 14

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R2実績	R3実績	R4実績	R5目標				
1	市民	より多くの児童に遊びの場を提供する。	利用者数	3,813人	3,808人	4,468人	6,000人	5,701人	・近隣小学校の新1年生への案内を夏休み前に行う 児童館のパンフレット、児童館利のきまり、年間予定行事一覧表他配布	能登半島地震による影響で、児童館が休館となり利用者の受け入れができなくなったため。	C:未達成
2	市民	多方面から関心と興味、参加意欲を持ってもらう。	広報	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月1回 その他随時	館だより月1回 区だより月2回 その他随時	館だより月1回 区だより月2回 その他随時	館だより月1回 区だより月2回 その他随時	イベント前はポスターを掲示したり、ホームページ、子育て応援アプリ等に内容を掲載する。 ・館だより・区だより ・イベント前チラシ配布	計画していた情報発信を行ったことにより、参加者増につなげることができた。参加者に何で情報を得ていたのか確認してきた。	B:達成
3	市民	利用者の満足度を高める。	苦情・要望への対応	アンケート回答 「良かった」以上 が100%	アンケート回答 「良かった」以上 が100%	アンケート回答 「良かった」以上 がほぼ100%	アンケート回答 「良かった」以上 が90%以上	アンケート回答 「良かった」以上 がほぼ100%	・アンケートボックスの設置 ・講座参加者へのアンケートを実施	イベント終了時に参加者から内容や児童館活動にアンケートを実施した。市民の要望を生かすよう事業や運営を改善していく。	B:達成
4	業務	子育ての楽しさを啓発する。	子育て支援	70回	80回	103回	58回	50回	幼児の利用年齢が低年齢化しており、乳児の割合が増えたので内容の見直しをし、わくわくTIMEを新設した。 ・子育て講座・ベビーヨガ・音楽遊び・タッチファースト等講師による行事 ・身体測定・わくわくTIME	能登半島地震による影響で、児童館が休館となり利用者の受け入れができなくなったため。	C:未達成
5	業務	心身ともに健全な成長を促進する。	年長児童向け事業	17回	19回	32回	32回	30回	マジック教室に替えてファミリー向けのスプリングコンサートを企画した。 スプリングコンサート・手芸教室・運動教室・夏休み工作教室・おたのしみ会・チャレンジ工作(毎月2種類)	能登半島地震による影響で、児童館が休館となり利用者の受け入れができなくなったため。	C:未達成
6	業務	発達の遅れが見られる乳幼児に、親子遊びなどを通して発達を支援する	発達支援	32回	32回	40回	40回	38回	・療育教室「だっこ」	能登半島地震による影響で、児童館が休館となり利用者の受け入れができなくなったため。	C:未達成
7	業務	災害時、利用者の安全を確保する	避難訓練の実施	2回	2回	2回	2回	2回	・職員のみ1回、利用者参加1回 ・地震避難訓練 ・消火訓練 ・通報訓練 等	消防署立ち合いの下、避難訓練を実施した。職員による利用者への避難誘導について指導を受けた。	B:達成
8	人材	様々な利用者の要望に応える。	職員研修の実施	17回	3回	1回	2回	2回	・各区健康福祉課主催の研修会 ・児童館合同研修・施設見学 等	職員が選択し、研修会に参加した。資質向上に向け、意欲的に取り組んだ。	B:達成
9	人材	子どもの命を守るアドバイスができるように努める。	乳幼児の安全講習	1回	0回	1回	1回	1回	・乳幼児に起こりやすい事故やケガの応急処置、AED使用方法についての講座	AED実習、防災リュックについて研修を行った。参加者、職員にとって学びの多い研修となった。	B:達成
10											

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
当施設は児童福祉法の規定に基づいて設置された児童館であると共に、地域子育て支援拠点事業を実施している施設でもあります。そのため、「子育て親子の交流の場の提供と交流の促進」「子育て等に関する相談・援助の実施」「地域の子育て関連情報の提供」「子育て及び子育て支援に関する講習等の実施」の4つの基本事業を柱に年間の運営計画を立て、取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付け変更は示されましたが、様々な感染症の感染拡大が危惧されている昨今なので、安心・安全な遊びの場が提供出来るように引き続き取り組んでまいります。	4月から12月までは、4つの事業計画を柱に年間計画に基づきながら児童館運営に取り組んだ。5月以降は新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴い、利用者数が増加し、目標とした6,000人達成を見込めたが、令和6年1月に発生した能登半島地震の被害により、利用者の安全確保を優先し、休館としたため、受け入れることができず、目標を達成することができなかった。震災後の休館期間中は、他の公共施設を活用し、出張児童館でのイベントを開催したり、子どもたちの居場所を作る等、職員が動きながら新たな取り組みを実施した。次年度も、施設改修が終わるまで、他の施設の活用した出張型の児童館活動を中心に実施していく。また、坂井輪地区に限らず、内野まちづくりセンターや黒埼市民会館など西区内の施設で各種イベント、広報活動により児童館事業を伝え、少しでも利用者が増えるよう取り組んでいく。